

日曜に観るか

土曜に観るか



URAYASU DOCUMENTARY FILM FESTIVAL 2015

うらやすドキュメンタリー映画祭

浦安から持続可能な社会を考える

第4回

2015.6.20(土) - 21(日) (6.13(土)プレ上映会)

浦安市民プラザ Wave101 中ホール (13日)
大ホール (20-21日)

主催：浦安ドキュメンタリーオフィス 後援：浦安市、浦安市教育委員会

フィルム提供：ウッキー・プロダクション、シグロ、スコブル工房、東風、ドキュメンタリージャパン、プロダクション・エイシア、きろくびと

「浦安から持続可能な社会を考える」をコンセプトに開催している映画祭は今年で4回目。忘れてはいけない記録を刻んだ映画、社会の豊かな可能性を提示する映画を集めました。土曜に観るか？ 日曜に観るか？ 歩いて観に行ける、わが町の映画祭です。

6/20 (土) 開場10:00 ^{あらが} 抗う土曜日

はだしのゲンが見たヒロシマ ★石田優子監督 10:30



監督：石田優子 2011/日本/77分
誰もが一度は手にしたことがあるあの名作の作者・中沢啓治が被爆体験と半生を語った貴重な映像記録。家族の命を奪った原爆への怒りをぶつけた「黒い雨にうたれて」で漫画家デビュー。1973年から10年かけて「はだしのゲン」全10巻を描き上げた。ゲンはまさに作者の分身だ。
第17回 平和・協同ジャーナリスト基金審査員特別賞

三里塚に生きる ★北井一夫さん(写真家)、代島治彦監督 12:45



監督：大津幸四郎・代島治彦 2014/日本/140分
1960年代にはじまった成田空港建設反対闘争。国の圧力と農民はいかに闘ったのか？ あの闘争は単なる「負け戦」だったのか？ 三里塚で今も抵抗を続ける人、闘いの場を去った人々などの証言に、かつての映像を交錯させて描き出す、千葉県発の「忘れられない物語」。
2014年度 日本映画ペンクラブ文化映画部門第2位
2014年度「映画芸術」日本映画ベストテン第3位

フタバから遠く離れて 第二部 ★船橋 淳監督(S) 15:45



監督：船橋 淳 2014/日本/114分
福島第一原発事故の影響で埼玉県の新潟西高校へ避難した福島県双葉町の住民たち。避難生活を記録した「フタバから遠く離れて」の続編。双葉町のほとんどの地域が帰宅困難地域に指定され、いまだ混乱の続く双葉町の姿を通して、原発行政が抱える矛盾をあぶり出す。
2015年 ベルリン国際映画祭出品

シンポジウム～映画プロデューサーの役割
ドキュメンタリーが圧力を受ける時 18:00

シンポジウム&関連上映

弱者の視点に立ち、社会の矛盾を突くドキュメンタリーは、撮影や上映を妨げる圧力を受けることはあるのか。圧力に対し、どこまで譲歩し、自主規制をかけるのか。ドキュメンタリー製作サイドから今その内幕が明かされる？

ゲスト
代島 治彦さん (スコブル工房代表、『三里塚に生きる』監督)
橋本 佳子さん (ドキュメンタリージャパン プロデューサー)
山上徹二郎さん (シグロ代表)

特別上映
触らぬバナナに祟りなし(仮題)



2009年、アメリカのある巨大食品企業の裏の顔を描いたドキュメンタリーが制作された。企業側は上映中止を求め、スポンサーに圧力をかけるなど、過激ともいえる対抗策を展開。企業は、自社ブランドを守るためどこまでやるのか。その顛末を追う。
二度と観られない(?)特別上映。お見逃しなく！
(上映時間87分/20:40頃終了予定)

★の回は上映後にトークイベントがあります(S:スクライブ、V:ビデオメッセージ)。

- 入場後、入れ替えはありません。
- 上映スケジュールは変更になる場合があります。
- 映画祭の最新情報はホームページをご覧ください。

www.urayasu-doc.com 浦安ドキュメンタリーオフィス 検索

映画祭twitter: @UDFF2011 facebook: www.facebook.com/urayasadoc

1日何本観てもこの料金です！

入場料金

1dayパス (日付指定) 前売・事前予約 1,600円 当日 1,800円 高校生以下 1,000円

2dayパス (2日通し券) 前売・事前予約 2,999円 (当日の販売はありません)

アフター6パス (17:45以降より入場可) 当日 999円 高校生以下 500円 (前売・事前予約なし)

- うらやすドキュメンタリーテークのサポーターの方は当日料金から200円引き
- 事前予約は6/18(木)までにホームページから、もしくはお電話でお申し込みください

お問い合わせ先 浦安ドキュメンタリーオフィス TEL: 070-5454-1980 E-mail: info@urayasu-doc.com

6/21 (日) 開場10:30 ^{はくく} 育む日曜日

夢は牛のお医者さん ★時田美昭監督(V) 11:00



監督：時田美昭 2014/日本/86分
昭和62年、新潟県の出あいにある小さな小学校に3頭の子牛が「入学」した。病気がちの子牛たちを前に、一人の少女は思った。「私がお医者さんになって牛たちを治してあげる」。まっすぐに夢を追った少女の26年間に密着した、感動の地方発ドキュメンタリー映画。
2014年度 日本映画ペンクラブ文化映画部門第1位
2014年度 キネマ旬報文化映画ベスト・テン第3位

みんなの学校 ★真鍋俊永監督(V) 13:15



監督：真鍋俊永 2014/日本/106分
特別支援教育の対象となる発達障害がある子も、自分の気持ちをうまくコントロールできない子も、みんな同じ教室で学ぶ。そもそも学びとは何か？ あるべき公教育の姿とは？「全ての子供に居場所がある学校作り」を目指す大阪市・大空小学校の取り組みを丁寧に追いつける。
2013年度 文化庁芸術祭賞テレビドキュメンタリー部門大賞
2013年度 日本民間放送連盟賞報道番組部門優秀賞(ほか)

千年の一滴 だし しょうゆ ★柴田昌平監督 15:30



監督：柴田昌平 2014/日本・フランス/100分
日本列島の人びとは自然と向き合い、どのように「食」を手に入れていったのか。漁師、農家、職人、禅寺、料亭、科学者まで、日本人の自然と向き合う叡智を全国に訪ね見つけた日仏合作ドキュメンタリー。千年に渡り磨かれた知恵と、麴カビによる和食創生のドラマを浮かび上がらせる。
第6回 辻静雄食文化賞(2015)
2014年度 キネマ旬報文化映画ベスト・テン第2位

みつばちの大地 18:00



監督：マクス・イムホーフ
2012/ドイツ・オーストリア・スイス/91分
ミツバチは誰でも知っている。しかし、人間が食べる食物の1/3はミツバチが受粉していることを私たちは知らない。そのミツバチが大量に死に、失踪している。なぜミツバチは消えた？ マクロ接写でその生態を捉えたSF的驚愕映像ドキュメンタリー。
2013年 スイス映画賞最優秀ドキュメンタリー賞
2013年 ドイツ映画賞最優秀ドキュメンタリー賞(ほか)

(19:31 終了予定)

6/13 (土) 開場14:00 映画祭プレ上映会

標的の村 「第1回浦安ドキュメンタリー映画大賞2014」受賞記念上映！ 14:30

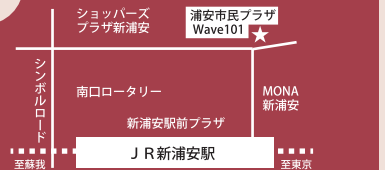


監督：三上智恵 2013/日本/91分
オスプレイ配備、ヘリパッド建設に反対する沖縄県高江の人々に寄り添いながら、沖縄の抵抗の歴史を紐解いていく。2012年9月、普天間基地ゲート前に座り込み、22時間基地を完全封鎖した人々と、強制排除に乗り出した警察との攻防を地元テレビ局のカメラは捉えた。
2013年 キネマ旬報文化映画ベスト・テン第1位

前売・事前予約 900円 当日 999円 高校生以下 500円

- うらやすドキュメンタリーテークのサポーターの方は当日料金から200円引き
- 事前予約は6/11(木)までにホームページから、もしくはお電話でお申し込みください

会場



- ・JR京葉線新浦安駅下車 南口徒歩2分
- ・千葉県浦安市入船1-4-1ショッピングプラザ新浦安4F